

展示室4 ジョゼフ・アルバース

2018年10月16日(火)－12月17日(月)

ジョゼフ・アルバースは1888年ドイツに生まれ、革新的な美術教育で知られるバウハウスに学び、やがて教授を務めます。1933年、ナチスの台頭により同校が閉鎖されるとアメリカに移り、1976年に死去するまで、画家、教育者、デザイナーとして活躍しました。

アルバースは、抽象形体と色彩による平面構成が、人間の感覚にどのように訴えるかを研究し、油彩やガラス絵の作品を制作しました。またその成果を著した本や美術学校での授業を通して、後の世代の芸術家たちに大きな影響を与えました。

この展示では、それまでのアルバースの作品を版画として集大成し、1972年に刊行された版画集『形成・接続』の第1巻、第2巻(全66点)から17点をご紹介します。 ※11月23日(金・祝)以降は展示作品が替わります。

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
	ジョゼフ・アルバース (1888-1976)	『形成・接続』 第1巻(全33点) 第2巻(全33点) より	1972年	シルクスクリーン・紙	38.0×101.7 (ペーパーサイズ)
1		I-2 水の中			
2		II-22 水の中			
3		I-1 階段			
4		I-18 不可能(左) 巻きまちがい(右)			
5		I-21 摩天楼(左) 窓(右)			
6		II-31 パーゴラ(左) 連結(右)			
7		I-28 変化形(西洋、東洋)			
8		II-9 変化形(北の気候と南の気候)			
9		II-18 変化形			
正方形讃歌					
10		I-15 正方形讃歌			
12		I-19 正方形讃歌			
11		I-23 正方形讃歌			
13		II-8 正方形讃歌			
14		II-17 正方形讃歌			
15		II-19 正方形讃歌			
16		II-32 正方形讃歌			
17		II-33 正方形讃歌			